

研究推進の構想

学校教育目標

豊かな心を持ち 自ら考え実践する たくましい子

研究主題

仲間と共に学び合い、「自らの学び」を高める子どもの育成

～ 学級力のある学級集団づくりと児童が自己の成長を感じ、学習意欲を高める授業づくり ～

目指す子どもの姿

【仲間と共に学び合い、「自らの学びを高める」子】

わかるまで、できるまで **意欲的に個人や集団で問い続け**、新たな知識、見方・考え方・感じ方、学習の構えを獲得することで、**自らの高まり（自分の成長）を自覚**し、さらに意欲を高めていける「自己教育力のある」子

育てたい資質・能力及び態度と授業の要件

①課題に向かう意欲

- 興味・関心を持ち、問題を把握する
- 解決への見通しをもつ

②自力で考える力

- 既習や得た情報を活かして考える
- 自分の考えをまとめて表現する

③学び合う力

- 自分の考えを根拠を明確にしなが自信をもって話す
- 人の考えと自分の考えを比較・関連させながら聞く
- 自分の考えを練り直す

④振り返る力

- 学んだことを整理する
- 自分の成長を自覚し、価値付ける
- 友達のよさを認め、価値付ける

支持的風土のある集団の中で、児童が自己の成長を感じ、学習意欲を高める授業

意欲を高める課題設定

考えをもつ自力解決

高め合う集団解決

学びを自覚する振り返り

学級力

A 目標達成力

(めあてをもってやりぬく)

- ①目標をたてる
- ②努力する

B 創造的対話力

(話をつなげ、新たな考えをつくる)

- ①話をつなげる
- ②新たな考えをつくる

C 協調性維持力

(助け合い、教え合い、認め合う)

- ①助け合い、教え合う
- ②認め合う

D 規律遵守力

(きまりを守る)

- ①学習のきまりを守る
- ②生活のきまりを守る

研究仮説

学級力（4領域8項目）を育成し、授業において、①意欲を高める課題設定→②課題に対する考えを持つ自力解決→③考えを高め合う集団解決→④学びを自覚し、意欲を高める振り返りという学習過程を踏み、それぞれの学習過程において、指導方法の工夫を行えば、仲間と共に学び合い、「自らの学びを高める」子が育つであろう。

研究内容

- (1) 目指す子どもの姿に至るための指導方法（授業の型）を探る。
- (2) 学級力（4領域8項目）を育成するための指導方法を探る。